

あなたのお薬を教えてください

健康 コラム



秋田厚生医療センター 薬剤科

副薬剤長 はせがわ いずみ 長谷川 和泉

【入院支援とは】

予約入院の患者さんが安心、安全な入院生活を送れるように入院前から専任の看護師をはじめ、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど他部門の専門職が関わり患者さんを支援することです。入院前に患者さんの状況を把握し、入院に対する不安の解消を目指します。

【薬剤師の関わり】

手術や検査によっては、服薬しているお薬を休止する必要があります。

入院前から薬剤師が関わり、休止が必要なお薬をあらかじめ中止することによって、予定通りに手術や検査を行うことができます。

休止が必要なお薬として、抗凝固薬や抗血小板薬、糖尿病治療薬、女性ホルモン製剤、市販薬(OTC)健康食品などがあり、それぞれ休止する期間が違います。(患者さんの状態や手術、検査内容によっては休止しない場合もあります。)自己判断での休止はせずに医師の指示に従ってください。

【お薬手帳の重要性】

診察の間や終了後に病院内の薬局に来ていただき、私たち薬剤師が、現在服薬しているお薬についてお薬手帳を見ながら確認させていただきます。ここで服薬しているお薬とは内服薬だけでなく、点眼薬や湿布薬、吸入薬などの外用薬も含まれます。

この時にお薬手帳などの情報がない場合、口頭のみ情報、またお薬はあるけどいつどのように服薬しているか曖昧な場合など、私

たちが患者さんの情報を正確に把握するのに乏しい場合があります。薬局に来られる場合は患者さんご本人か、服薬状況を把握されているご家族などがお越しくください。また、お薬の内容を確認させてもらった後に、他の病院や歯科にかかれ、お薬が処方された場合は外来に相談してください。

病院に来る時は、お薬手帳をご持参ください。そしてお薬手帳はいつも最新の情報にしておきましょう。

【休止が必要なお薬がある場合】

入院前に休止が必要なお薬がある場合、医師の指示にて休止期間が伝えられます。PTPシートであればそのまま中止してもらいます。1包化されているお薬であれば間違えて服用しないように外来で休薬説明用紙をお渡しします。そちらに休止のお薬と休止する期間が記載されているので、用紙を持参しかかりつけの薬局に行って服薬を継続するお薬と別に分包してもらいます。

【入院後】

入院後にも持参されたお薬とお薬手帳を見ながら服薬状況を確認しており、ここでも休止がされていたかを確認しています。

【さいごに】

入院前にお薬についてご不明な点、不安なことがあればご相談ください。お薬手帳をうまく活用して安全な医療を受けられるようにしましょう。安心、安全な入院生活を送れるように、あなたのお薬を教えてください。